

平成28年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	42	学校名	静岡県立静岡東高等学校	記載者	山根 憲一
------	----	-----	-------------	-----	-------

◎本年度の取組（重点目標はゴシック体で記入）

- ※1：理系高大連携推進委員会、 ※2：国際理解教育推進委員会 ※3：いじめ防止対策委員会 ※4：運営委員会 ※5：コンプライアンス委員会（相談員）
 ※6→旧帝国大学+9国立大学（筑波、千葉、東京工業、一橋、東京外語、横浜国立、金沢、神戸、広島）+国公立大学医学部医学科

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	御意見
(1) 授業改善と学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業公開率 100% ・教員の教科指導セミナー参加者人数 3人以上 ・教員の先進校訪問人数 4人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力向上のためには授業公開は良い機会となる。土曜日の公開授業を効果的に活用できているのでは、 ・参加した教員が教科内で伝達し、全教員の教科指導力向上につなげてもらいたい。 ・先進校を訪問することは、教員自身の指導力を高める指針となる。外部の情報・手法等を積極的に入手し、どのような点が異なり、どのように取り入れていくかを検討すべき。 ・アンケートの理解できたかどうかを問う質問の文言を変えた方が良い。 ・積極的に、自発的な学習が理解をより向上させるといふ点からも研修の意義がある。 ・センター試験の結果と2次試験の結果との関連性を明示していただきたい。 ・授業の理解が個人のモチベーションにもつながると思うので、70%という目標は良いが、残り30%の生徒に対する働きかけも必要である。 ・全体として、一つ一つの成果目標に向かって具体的に真摯に取り組んでいる。 ・中学生やその保護者が熱心に授業を参観している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・校内教員研修参加者満足度 80%以上 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のセンター試験問題確認率 5教科100% 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が解りやすいと思う生徒の割合 70%以上 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業の外部評価 良好が80%以上 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年家庭学習時間 1日平均2時間以上 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での模試の分析回数 3回以上 	A	A	
<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・センター試験平均点 全国平均+5%以上 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2時間の設定目標は妥当だと思う。調査する時期をもう少し遅くした方が良い。また、生徒の能力に応じた個別の目標も必要なのではないか。さらに、時間だけでなく内容の濃さにも注意していただきたい。 ・分析結果を有効に活用していただきたい。 ・全体の平均は目標を達成している。上位層を伸ばすには個別指導が必要である。 ・達成できなかった科目について、具体的な対策を考え、平均以下の教科の%を上げるように努力していただきたい。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年予備校DVD講座参加者数 40人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD講座の良さを生徒に伝え、受講する生徒数を増やす工夫をする。また、数値目標を上げて良いのでは。 ・具体的な数値目標があり、データに基づいた評価となっているが、数値目標に対してどこまで達成できたかAなのか基準を明確にしてもらいたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の貸出本冊数 2,500冊以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館をよく活用しているように思う。 	
(2)	志の育成と進路目標への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ・専門教養講座の単位取得生徒数 10人以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標が明確でない時点では講座内容に関心を持っていないのかも知れない。受講した生徒の感想を伝えるとともに普段から声掛けを多くするようにして欲しい。 ・生徒により必要な回数が異なると思う。選択的な面談日を設定してはどうか。目標も平均3回とした方が良いのではないか。また、面談という形式も大事だが、日常の生徒との関わり合いが重要だと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個人面談回数 5回以上 	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア講演会生徒満足度 80%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・内容的に難しくても高校生という年代に必要と思われるのであれば重要性を説いたうえで実施することも必要で、満足度が70%であれば十分目的を達成している。 ・職業への関心を高め、学習に向かうモチベーションアップになるので素晴らしい企画だと思う。満足度も高い。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア講座生徒満足度 80%以上 	A	A		
	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学訪問生徒数 40人程度 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「百聞は一見に如かず」このような大学訪問はできるだけ多くの生徒に参加してもらい、モチベーションづくりに役立ててほしい。また、東大以外の高い目標となるような大学への訪問も企画してもらいたい。 ・アンケート結果の満足度から生徒の意欲のことが分かる。大学教授を招いての模擬授業の体験は学部・学科の選択に有益である。 ・今後もより高い進路希望を実現できるよう継続して指導して欲しい。東高が受験会場である利点も活かしたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学訪問生徒満足度 80%以上 	A	A		
	<ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業生徒満足度 80%以上 	A	A		
	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験5教科受験率 80%以上 	A	A		
	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学現役合格者数 180人以上 	B	B		
	<ul style="list-style-type: none"> ・難関国公立大学(※6)合格者数 30人以上 	B	B		
<ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベル模試受験者数 学年各30人以上 	A	A			
<ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学での実習体験参加者数 20人以上 	B	B			
<ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学での実習体験生徒満足度 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・応募人数が少ないのが残念。次年度の参加人数を増やしたいのであれば、参加した生徒の報告会を開いてみてはどうか。理系の生徒にとって大学で実験できる機会は貴重であり、満足度の高い行事であるので、参加人数の多少に関わらず継続すべきである。 		

(3)	能力や特性の育成	・遅刻生徒数 1日平均全校で7人以下	A	A	平均4人と例年に比べ少ない状況は素晴らしい成果だ。
		・1・2年生部活動加入率 100%	A	A	・全員加入は当然だが、県大会100%は部活によって達成が難しい部活もあるのではないかと。各部活が積極的に活動しているのであれば十分である。
		・運動部活動県大会出場率 100%	B	B	
		・東海大会以上への出場部活数 5部活以上	A	A	・勉強と両立しながら東海大会以上の大会に9部活が進出した実績は誇らしい成果である。
		・外部講師による部活動講座実施回数 10回以上	A	A	・各部活動の目標達成や生徒の工夫・意欲を高める意味で外部人材の活用は効果的である。
		・内湖高級中学校との交流回数 2回	A	A	・実施時期については新年度が始まったばかりの4月よりは6月ぐらいが良いと思うが、生徒の国際理解につながる行事なのでぜひ続けて頂きたい。
		・修学旅行生徒満足度 各コース80%以上	A	A	・両コースとも98%程度の生徒が満足しており充実した修学旅行であった。できれば、各コースの具体的な内容を知りたい。
		・生徒英語研修の参加者数 30人以上	A	A	・国内で海外の疑似体験できる施設を利用し、英会話を通してのグローバル教育は、生徒にとって将来有益な財産になると思う。アンケートによると、参加した生徒の100%が満足と答えており、今後も継続すべき行事の一つである。 ・一人でも多くの生徒がより高い資格に挑戦するよう指導を継続して欲しい。
・英語研修の生徒満足度 80%以上	A	A			
・実用英語検定準2級以上取得者数 200人以上	A	A			
・文化教室生徒満足度 70%以上	B	B	・古典芸能や演劇・音楽などの芸術に触れ、感性を育み豊かな人間性を形成するためにもぜひ続けてもらいたい。		
(4)	命を守る教育の推進	・地域防災訓練への生徒参加率 80%以上	B	B	・災害時に高校生が果たす役割は大きく、期待もされている。参加率が減少した原因を探り、次年度は100%を目標にすべきではないかと。近隣の地域との連携も考えたらどうか。
		・重大な生徒交通事故件数 0件	C	C	・長期入院を要する事故が1件あったことは残念だ。過去の事故事例やその原因を交通教室に反映させるべきではないかと。
		・組織的な街頭指導回数 3回以上	A	A	
		・交通教室回数 各学年1回以上	A	A	・いじめはわかりにくいものなので、引き続き注意を払っていく必要がある。学校の指導に感謝している。
		・体罰・いじめの発生件数 0件	A	A	
		・生徒検診結果による治療率 前年度より向上	B	B	・歯の大切さは年を取ると実感できるが、そうなるからでは遅いので高校生のうちから治療を徹底する必要がある。早期治療により学力向上にもつながるのでは。
・保健便りによる健康指導回数 15回以上	A	A	・「保健だより」の内容は、保護者にとって子供の健康面で留意する適切な助言となっており非常にありがたい。結果としてインフルエンザ等の罹患が少なく、学級閉鎖0につながっている。		
・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数 0件	A	A			
・グループエンカウンター実施回数 各学級1回	A	A	・コミュニケーション能力や親近感の向上には良い体験だと思う。グループエンカウンターの実践や「教育相談だより」の発行が問題発生の抑止力となっている。		
・教育相談だより発行回数 8回以上	A	A			

(5)	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の学校公開回数 7回(部活動公開2回) ・公開授業の参加者数計 1,900人以上 	A	A	・学校公開は中学生やその保護者にとって、東高の魅力を知ってもらう絶好の機会であるので、内容を吟味しながら継続していただきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開での校内美化への外部意見批判0件 	B	B	・校内美化は美会委員会の点検だけでなく、日々の授業や部活動の場において環境整備を心掛けるよう指導することも大事である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・HPアクセス回数 15万回以上 ・HP更新頻度 週5回以上 	A	A	・広報活動としては大変有効で、毎日の更新は素晴らしい成果である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事掲載回数 40回以上 	C	C	・設定した数値目標が高すぎたきらいがある。新聞社への働きかけや広報活動の工夫が必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・事務室窓口へのクレーム件数 0件 	B	B	・今までのクレームに対する検討を行い、改善すべきところは改善する。